

福島県立医科大学々報

目 次

○ 学 事	-----	
平成23年度医学博士授与者（前期）	2
○ 人 事	-----	
新任教授・新任准教授・新任講師・新任部門長等	2
新任あいさつ	2
・医学部放射線健康管理学講座 教授 大津留 晶		
・医学部放射線生命科学講座 教授 坂井 晃		
○ 諸 規 程 改 正	-----	
平成23年8月から平成24年1月までの諸規程の制定改廃関係	3
○ 役員会・経営審議会・教育研究審議会・医学部教授会・看護学部教授会	-----	
役員会	4
経営審議会	4
教育研究審議会	4
医学部教授会	4
看護学部教授会	4
○ 雑 報	-----	
2講座の新設について	5
医学部定員増の実施について	5
福島県立医科大学2011年総合パンフレット日本語版及び英語版の発行について	5
学生の部活動報告（ギター部）	5
平成23年度文部科学省科学研究費助成事業採択状況	7
平成23年度厚生労働科学研究費補助金採択状況	11
ルース米国駐日大使本学訪問	11
国際シンポジウムの「結論と提言」について	11

学 事

■ 平成23年度医学博士授与者

前期〔平成23年9月授与〕

氏 名	学 位 論 文 名
板垣俊太郎	Event-Related Potentials in Patients with Adult Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder versus Schizophrenia (成人期の注意欠陥/多動性障害 (adult AD/HD) 患者群の事象関連電位 (ERPs) の健常者群と統合失調症患者群との比較検討)
齋藤 元伸	Targeted Disruption of Ing2 Results in Defective Spermatogenesis and Development of Soft-Tissue Sarcomas (Ing2 欠損マウスは精子形成異常と軟部組織肉腫発生をもたらす)
佐久間寛之	Improvement in social skills in patients with schizophrenia following 6 months of psychiatric daycare treatment (6ヶ月の精神科デイケア施行による統合失調症の生活技能の改善)
宮本 保久	統合失調症の受信技能の評価と送信技能や認知機能との関連について
安藤 勝也	Crucial Role of Membrane Type I Matrix Metalloproteinase (MT1-MMP) in RhoA/Rac1-Dependent Signaling Pathways in Thrombin-Stimulated Endothelial Cells (トロンビン刺激血管内皮細胞における RhoA および Rac1 の活性化とそれらの下流シグナルにおける Membrane Type I Matrix Metalloproteinase (MT1-MMP) の役割に関する研究)
岩崎 充晴	日本人女性における膀胱癌発生の危険因子 - 骨盤 MRI による検討 -

人 事

(平成24年2月1日)

◎新任教授

採用 H23.10.1	放射線健康管理学講座	大津留 晶
採用 H23.11.1	放射線生命科学講座	坂井 晃

◎新任准教授

昇任 H23.10.1	呼吸器内科学講座	谷野 功典
昇任 H23.10.1	救急医療学講座	池上 之浩

◎新任講師

昇任 H23.10.1	呼吸器内科学講座	金沢 賢也
昇任 H23.10.1	呼吸器内科学講座	横内 浩
昇任 H23.10.1	脳神経外科学講座	市川 優寛
昇任 H23.10.1	形成外科学講座	望月 靖史
昇任 H24.1.1	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座	中嶋 真一
昇任 H24.1.1	総合周産期母子医療センター	高橋 秀憲
昇任 H24.2.1	産科婦人科学講座	野村 泰久
昇任 H24.2.1	産科婦人科学講座	西山 浩
昇任 H24.2.1	耳鼻咽喉科学講座	松井 隆道

◎新任部門長等

採用 H23.11.1	放射線医学県民健康管理センター 副部門長	安田 英継
-------------	-------------------------	-------

■ 新任あいさつ



教授就任のご挨拶

医学部放射線健康管理学講座

教授 大津留 晶

平成23年10月1日付けで、福島県立医科大学医学部・放射線健康管理学講座の初代主任教授を拝命いたしました。本講座は、東日本大震災に引き続いた原発事故による原子力災害からの復興に向け、放射線健康リスク問題の中心を担う臨床系講座として新設されたものです。福島県立医科大学の皆様には、本紙面をもちましてご挨拶とこれまでのご協力への御礼を申し上げます。

私は、昭和57年に長崎大学医学部を卒業し、同第一内科に入局し、消化器内科医として働いておりました。平成3年6

月より山下俊一教授の主宰する長崎大学医学部原爆後障害医療研究施設分子医療部門へ助手として移りました。新規がん遺伝子の発見、がん特異的な細胞間及び細胞内シグナルの発見、それらを基にした分子標的・遺伝子治療法の開発研究などのトランスレーショナル・リサーチを行いました。平成15年4月より、被ばく医療の臨床分野を強化するため長崎大学病院に永井隆記念国際ヒバクシャ医療センターが創設され、副センター長としてその立ち上げを担いました。

現在、福島では住民の方々の健康リスクへの不安はまだまだ強いのが実情です。そのためにも長期間の県民、特に妊産婦、乳幼児～学童の健康フォローアップが必要であると考えます。その一つとして福島県県民健康管理調査という形で、県民の健康を見守ってゆく各種プロジェクトがスタートしております。これから福島から育つ若い医師が、被ばく医療という観点も身につけて、新たな生命科学や医療の発展に寄与できることに少しでもお役にたてれば幸いです。今後もかわらぬご支援、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



教授就任の抱負

医学部放射線生命科学講座

教授 坂井 晃

平成23年11月1日付けで医学部放射線生命科学講座の教授に就任致しました。このたび福島原発事故による福島県民の放射線医学健康調査の仕事をしていただく職をいただき、今後低線量被ばくの人体への影響調査を進めていく予定です。しかしながら低線量被ばくの人体への影響は何を指標に解析していくかが重要な課題であり、また臨床的な影響の有無は今後四半世紀以降に明らかになってくると思われます。放射線医学県民健康調査の試料担当も拝命致しましたが、県民の方々からの血液サンプル等を用いてどのような項目を長期的に調査し、またそれを用いてどのように今後の調査研究に役立てるか早急にシステムを構築しなければなりません。原爆被爆者研究で永年にわたり調査研究を継続してこられた広島大学原爆放射線医学研究所、長崎大学医学部原爆後障害医療研究施設ならびに放射線影響研究所の先生方と連携を取り、放射線医学県民健康管理センターの多くのスタッフの方々のお力のもとに、福島県民の健康調査に尽力していく所存です。またがん薬物療法専門医として臨床腫瘍センターの兼務も拝命しましたので、福島県民のがん死亡率の低下に向けて微力ながらお役に立てればと考えております。福島県立医科大学の皆様のご支援ご指導よろしくお願い申し上げます。

諸規程改正

■ 平成23年8月から平成24年1月までの 主な諸規程の制定改廃関係

○「福島県立医科大学総合科学系教員体制等検討委員会規程」の制定

(平成23年8月1日制定・平成23年8月1日施行)

総合科学教育研究センターのさらなる充実を実現するため、今まで医学部に置かれていた「総合科学系教員体制等検討委員会」を廃止し、大学のもとに同検討委員会を設置しました。

○「公立大学法人福島県立医科大学組織及び運営規程」の一部改正

(平成23年8月31日制定・平成23年9月1日施行)

放射線影響に係る県民健康管理を目的として、法人組織として「放射線医学県民健康管理実施本部」を設置し、大学組織として「放射線医学県民健康管理センター」を設置しました。

○「福島県立医科大学研究用微生物安全管理規程」の制定

(平成23年9月28日制定・平成23年10月1日施行)

平成10年文部省学術審議会特定研究領域推進分科会バイオサイエンス部会策定の「大学等における研究用微生物の安全管理マニュアル(案)」を踏まえ、安全管理規程を制定しました。

○「女性医師の産休等に伴う定数配分先選定委員会規程」の制定

(平成23年9月29日制定・平成23年10月1日施行)

女性医師の産前・産後休暇及び育児短期時間勤務により生じた欠員を補充するため、理事長裁量定数を活用した定数の配分が出来るよう委員会規程を制定しました。

○「公立大学法人福島県立医科大学組織及び運営規程」の一部改正

(平成23年10月1日制定・平成23年10月1日施行)

平成23年10月1日付の組織改正に伴い、医学部の生命科学・社会医学系講座の一つとして「放射線生命科学講座」を、医学部の臨床医学系講座の一つとして「放射線健康管理学講座」を設置しました。

○「福島県立医科大学看護学部長選考規程」の一部改正

(平成23年10月11日制定・平成23年10月11日施行)

看護学部長の選考方法を医学部長の選考方法と同様に、第1選挙(有権者は助手以上)、第2選挙(有権者は教授)の2回の選挙を実施するように改正しました。

○「福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター規程」の制定

(平成23年8月29日制定・平成23年9月1日施行)

福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターの

開設に伴い、センター内に情報管理部門、疫学部門及び臨床部門の3部門を設置することとしました。

○「公立大学法人福島県立医科大学におけるコンプライアンス委員会の設置等に関する規程」の制定

(平成23年10月18日制定・平成23年10月18日施行)

大学における職員の法令遵守の意識を高めるため、学内にコンプライアンス委員会を設置することとしました。

○「公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター準備室任期付教員就業規則」の制定

(平成23年11月30日制定・平成23年11月30日施行)

会津医療センターの教員(医師)について、65歳以上の優秀な人材を採用するため、上限年数6年とする原則2年以内の任期を付した有期雇用制度とするよう定めました。

○「福島県立医科大学学則」の一部改正

(平成23年11月16日制定・平成23年11月16日施行)

平成24年度医学部医学科の暫定的な入学定員が110名から125名に変更になりました。

○「公立大学法人福島県立医科大学職員給与規程」の一部改正

(平成23年12月28日制定・平成24年1月1日施行)

福島県の給与改定に準じ本法人の給与改定を行うため、医師を除く全職種で平成24年1月1日から給料月額等の引き下げを行うよう改正しました。

○「公立大学法人福島県立医科大学職員特殊勤務手当細則」の一部改正

(平成23年12月28日制定・平成24年1月1日施行)

災害応急作業等手当を新設するとともに、遺体処理手当に検死の業務を追加しました。

○「公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程」の一部改正

(平成24年1月17日制定・平成24年1月17日施行)

附属病院の自由診療に関する諸料金に、放射線健康相談料およびホールボディカウンター料を新設しました。

役員会・経営審議会・ 教育研究審議会・医学部 教授会・看護学部教授会

■ 役員会

【平成23年12月22日 第9回役員会】

- ・寄附講座の設置

次のとおり、新たな寄附講座を設置することが承認された。

(名称)

慢性腎臓病(CKD)病態治療学講座

(設置期間)

平成24年4月～平成27年3月(3年間)

(研究テーマ)

慢性腎臓病(CKD)の集約的治療法の開発と地域医療連携システムの構築

■ 経営審議会

【平成23年12月27日 第3回経営審議会】

- ・公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程の一部改正について

医療シミュレーション機器の貸付料の新設等「公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程」の一部改正について諮られ承認された。

- ・復興計画関連事業に係る県予算措置について

県12月補正予算(案)に計上された、本学提案の復興関係事業に係る基本構想策定経費等の概要について諮られ承認された。

■ 教育研究審議会

【平成23年9月27日 第2回教育研究審議会】

- ・平成25年度看護学部入学者選抜募集人員について

「教育カリキュラムの改正および編入学生の状況等から、平成25年度看護学部編入学試験から募集を停止し、福島県に定着し看護専門職を目指す学生の確保を目指す方策を検討する」ことについて審議され、原案のとおり承認された。

■ 医学部教授会

【平成23年11月16日 定例教授会】

- ・医学部入学定員の増について

県内の医師不足への対応のため、平成24年度の医学部入学定員を110名から125名へ増員することが諮られ承認された。

■ 看護学部教授会

【平成23年11月15日 定例教授会】

- ・カリキュラム改正について

文部科学省の指定規則改正に伴うカリキュラム改正の案について諮られ、承認された。

雑 報

■ 2講座の新設について

震災による原発事故災害を受け、本学は将来にわたり福島県民の健康を管理する体制を整え、将来に向けた人材育成のため、次の2講座を新設しました。

1 放射線生命科学講座（生命科学・社会医学系講座）

平成23年11月1日新設

○主任教授 教授 坂井 晃

○講座新設目的

放射線障害に関する研究、人材育成

2 放射線健康管理学講座（臨床医学系講座）

平成23年10月1日新設

○主任教授 教授 大津留 晶

○講座新設目的

放射線被ばくによる健康被害に関する臨床活動・研究

■ 医学部定員増の実施について

1 医学部定員増

昨年度、「新成長戦略」等を踏まえ、平成24年度からの医学部入学定員増を容認することが文部科学省から通知されたことから、さらなる医学部入学定員増について県とともに検討し、また、15名の入学定員増について文部科学省等と協議したところ、認められました。

このため、平成23年10月28日付けで文部科学大臣あて学則の変更に係る届出を行い、所定の手続を完了しました。

これにより、平成24年度から平成29年度までの入学定員は125名となりました。

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
入学定員	95人	100人	105人	110人	125人	125人
収容定員	495人	515人	540人	570人	615人	660人

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
入学定員	125人	125人	125人	125人	110人	110人
収容定員	690人	715人	735人	750人	735人	720人

	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度
入学定員	85人	85人	85人	85人	85人	85人
収容定員	680人	640人	600人	560人	535人	510人

2 推薦入試の定員増

医学部定員増に伴い、平成24年度においては、一般入試（前期日程）の募集区分に新たに地域枠の区分を設け、募集人員を15人程度にし、福島県内の公的医療機関等に勤務

することを要件とする福島県緊急医師確保修学資金（第一種）の貸与を出願要件として、地域医療に対する意欲と情熱を持ち、確実に地域医療に従事する者を選抜することとしました。

また、従来的一般入試選抜の出願を一般枠とし、募集人員を47人程度とすることとしました。

○医学部一般選抜枠（前期日程）（単位：人程度）

募集区分	人員	備 考
一般枠	47	
地域枠	15	・福島県緊急医師確保修学資金（第一種）貸与
計	62	

■ 福島県立医科大学2011年総合案内パンフレット日本語版及び英語版の発行について

大学総合案内パンフレット日本語版を平成23年6月に作成・刊行しました。本年度は東日本大震災における本学の災害医療支援機関としての対応や学生ボランティアの活躍等について掲載しています。また、平成23年9月には英語版を刊行しました。

なお、本学ホームページにPDF版を掲載しています。
※2011年版を作成・刊行するにあたり関係者の方々には貴重なお時間を割いて御協力を賜り感謝申し上げます。この誌面をお借りしてお礼申し上げます。（企画財務課）

■ 学生の部活動報告

ギター部

医学部3年 池田 翔 平

私たちギター部は総勢50名を超える部員で活動しています。その多くは大学からギターを始めた初心者ですが、皆楽しくギターを弾いています。

メインイベントは、9月に行われる定期演奏会です。演奏をする福島市音楽堂は音響環境に非常に優れており、本格的な音と演奏会ならではの緊張感も楽しむことができます。さて、この演奏会は三部構成となっています。1部と3部は全体での合奏で、1部では「カノン」や「ボレロ」といったクラシック曲や、「パイレーツ・オブ・カリビアン」などの映画の主題歌を中心に演奏します。3部では洋楽、Jazz、歌謡曲、J-popなど幅広く演奏します。2部は学年や、有志の団体で演奏します。クラシックギターに加

エアコースティックギターや、種々の打楽器なども取り入れて演奏の幅を広げています。

定期演奏会の練習は恒例の楽しい夏合宿からスタートし、“厳しいながらも、明るく楽しく”をモットーに練習を積み重ねます。そのような練習を乗り越えて部員全員で作りあげた定演は格別であり、何物にも代え難い達成感が得られます。

他にも、学祭でのステージ発表、附属病院の小児科訪問（クリスマスソングの演奏）などの活動をしています。今年東日本大震災に伴う避難所を訪問しギターの演奏をさ

せていただきました。加えて、年2回の部内発表会では合奏、ソロ、デュオ、弾き語りなど様々なギターを楽しんでいます。ギターはとても原始的な楽器ではありますが、それゆえ奥も深く様々なテクニックを駆使すればより一層表現できる音楽の幅が広がります。私たちはより良い演奏会を求めて練習しております。

最後になりましたが、顧問の棟方充先生をはじめ、たくさんさんのOB・OGの方々、そして福島県立医科大学の皆さまのご協力とご支援のおかげで充実した活動を行うことが出来ております。この場をお借りして御礼申し上げます。



■ 平成23年度 文部科学省科学研究費助成事業採択状況（研究代表者）

所 属		職	氏 名	研究種目名	課題番号	研 究 課 題 名
医学部	医療人育成・支援センター	助 教	本谷 亮	研究活動スタート支援	22830057	緊張型頭痛に対する認知行動療法プログラムの開発とその治療効果に関する研究
医学部	医療人育成・支援センター	助 教	大島 謙吾	若手研究（B）	23790916	肺結核症における抗結核薬血中濃度測定の有用性の検討
医学部	神経解剖・発生学講座	学内講師	増田 知之	基盤研究（C）	21590218	脊髄特異的な新規遺伝子群の感覚神経ネットワーク形成における機能の解析
医学部	解剖・組織学講座	教 授	和栗 聡	基盤研究（B）	21390055	ポストゴルジ交通網における積み荷タンパク質の品質管理機構とその異常
医学部	解剖・組織学講座	教 授	和栗 聡	挑戦的萌芽研究	21659045	オートファジー現象における隔離膜形成・伸張機構の微細構造解析
医学部	解剖・組織学講座	准教授	山本 雅哉	基盤研究（C）	21590343	線維芽細胞増殖因子（FGF）21の代謝機能発現機構の解析
医学部	細胞統合生理学講座	准教授	勝田新一郎	基盤研究（C）	23500522	末梢動脈圧波から中心血圧の新たな推定法の検討
医学部	神経生理学講座	名誉教授	香山 雪彦	基盤研究（C）	21500307	覚醒状態及び覚醒系ニューロンに対して睡眠中枢が果たす生理的役割の解明
医学部	神経生理学講座	講 師	高橋 和巳	基盤研究（C）	23590281	青斑核ノルアドレナリンニューロンの選択的破壊法を用いた睡眠・覚醒の神経機構の解明
医学部	生化学講座	教 授	橋本 康弘	基盤研究（C）	23590367	形態学的診断が困難な中枢神経疾患の生化学マーカーの探索
医学部	生化学講座	助 教	苅谷 慶喜	若手研究（B）	23790373	$\alpha 6 \beta 4$ インテグリンによる癌の悪性形質発現機序の解明
医学部	生化学講座	助 教	伊藤 浩美	若手研究（B）	23770134	糖ペプチドライブラリーを活用した構造解析への応用
医学部	免疫学講座	名誉教授	藤田 禎三	基盤研究（B）	21390086	補体レクチン経路は第二経路の活性化に関与する
医学部	免疫学講座	講 師	関根 英治	基盤研究（C）	23591442	転写因子 IRF4 は自己免疫疾患における肉芽腫の形成に関与する
医学部	免疫学講座	学内講師	高橋 実	基盤研究（C）	23590342	補体関連分子 MASP-1 による新規な D 因子活性化機構
医学部	免疫学講座	助 教	町田 豪	若手研究（B）	23790542	補体セリンプロテアーゼ MASP-1 を標的としたループ腎炎の新規治療戦略
医学部	薬理学講座	教 授	木村 純子	基盤研究（C）	21590288	臓器線維化に関与する線維芽細胞の Na ⁺ /Ca ²⁺ 交換輸送体の研究
医学部	薬理学講座	准教授	亀岡 弥生	基盤研究（C）	23591400	骨髄異形成症候群の血球機能不全に対する治療標的機構の解明
医学部	薬理学講座	助 教	三坂 眞元	若手研究（B）	23790605	ナドロールを用いた薬物トランスポーターを介する薬物相互作用のインビボ評価法の確立
医学部	薬理学講座	助 教	谷田部 緑	若手研究（B）	23790950	腎臓のカルシウム輸送対の発現調節とリン代謝
医学部	薬理学講座	助 教	谷田部淳一	若手研究（B）	23790949	腎産生 GABA の分泌調節が、高血圧の成因維持に果たす役割の解明
医学部	微生物学講座	教 授	錫谷 達夫	挑戦的萌芽研究	23659334	生きているが培養できない菌（VBNC）の検出法開発と食品衛生に及ぼす影響
医学部	微生物学講座	助 教	生田 和史	若手研究（B）	22791034	先天性サイトメガロウイルス感染が顕性感染へと至るリスク判定法の開発
医学部	微生物学講座	主任医療技師	西山 恭子	奨励研究	23930020	培養によらない真菌解析法による腔常在真菌叢の変化と腔炎発症病理の解析
医学部	基礎病理学講座	教 授	千葉 英樹	挑戦的萌芽研究	23659187	タイト結合膜貫通分子オクルディンを標的とした C 型肝炎の新規治療法の開発
医学部	基礎病理学講座	助 教	富川 直樹	若手研究（B）	22790830	脳梗塞時の虚血障害部位に発現する laminin $\alpha 5$ の機能的意義の解明
医学部	衛生学・予防医学講座	教 授	福島 哲仁	基盤研究（C）	21590657	パーキンソン病発症への重金属の関与を探る疫学及び実験研究
医学部	衛生学・予防医学講座	准教授	早川 岳人	基盤研究（C）	20590515	循環器疾患の登録を実施している地域住民の生活習慣と認知機能低下に関する追跡研究
医学部	衛生学・予防医学講座	講 師	神田 秀幸	若手研究（A）	22689023	国際比較可能な学校における喫煙対策の実態に関する全国調査研究
医学部	公衆衛生学講座	教 授	安村 誠司	基盤研究（B）	23390175	介護予防ハイリスク者に対する包括的介護予防プログラムの開発と検証
医学部	公衆衛生学講座	准教授	後藤 あや	若手研究（A）	21689019	妊娠期からの早期育児支援プログラム：アジア2カ国での科学的効果検証

所 属		職	氏 名	研究種目名	課題番号	研 究 課 題 名
医学部	公衆衛生学講座	助 教	山崎 幸子	若手研究 (B)	23700802	高齢者の閉じこもりやうつを強化する家族特性の解明：支援策検討のための地域縦断研究
医学部	公衆衛生学講座	博士研究員	中野 匡子	基盤研究 (C)	23590804	家族と同居する高齢者の孤立が心身に与える影響と支援方策の検討
医学部	法医学講座	教 授	平岩 幸一	基盤研究 (C)	22590639	緊縛性ショックマウスにおける多臓器不全因子の分子生物学的解析
医学部	法医学講座	助 教	加藤 菜穂	若手研究 (B)	23792078	下肢虚血再環流障害の病態解析～新たな治療法開発を目指して～
医学部	法医学講座	主任医療技師	須藤美和子	奨励研究	23933009	Focus カラム前処理による抗うつ薬のGC/MS分析及び定量分析
医学部	循環器・血液内科学講座	教 授	竹石 恭知	基盤研究 (C)	21590935	抗老化蛋白SMP30を用いた心不全の新規治療戦略
医学部	循環器・血液内科学講座	教 授	小川 一英	基盤研究 (C)	22590790	心アミロイドーシスに対するICD併用自己末梢血幹細胞移植の有用性の検討
医学部	循環器・血液内科学講座	学内講師	野地 秀義	基盤研究 (C)	22591067	PNHにおけるペプチドワクチンによる免疫療法の可能性
医学部	循環器・血液内科学講座	助 教	杉本 浩一	若手研究 (B)	22790718	血管炎症における新規分子MT1-MMPの関与
医学部	循環器・血液内科学講座	准教授	義久 精臣	若手研究 (B)	21790737	慢性心不全における睡眠時無呼吸症候群に対する順応性自動制御換気療法の効果の検討
医学部	循環器・血液内科学講座	助 教	及川 雅啓	若手研究 (B)	23790867	慢性心不全に対する新たな治療戦略-PDE3A 過剰発現マウスによる検討-
医学部	循環器・血液内科学講座	助 教	鈴木 聡	若手研究 (B)	23790866	心筋細胞障害に対する新治療戦略: HMGB1 マウスを用いた検討
医学部	循環器・血液内科学講座	助 手	佐藤 崇匡	若手研究 (B)	23700613	慢性心不全患者における心臓リハビリテーションの効果
医学部	循環器・血液内科学講座	博士研究員	七島 勉	基盤研究 (C)	22591044	新たな手法によるPNHクローンの拡大抑制に関する基礎的検討
医学部	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	教 授	大平 弘正	基盤研究 (C)	21590854	プロテオミクスを用いた自己免疫性肝炎における自己抗体の網羅的解析
医学部	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	講 師	片倉 響子	若手研究 (B)	22790657	TLR9によるB細胞の機能調節と炎症性腸疾患治療への対応
医学部	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	学内講師	高木 忠之	若手研究 (B)	22790658	膵臓癌に対する超音波内視鏡を用いた微量放射線局注療法と化学療法併用の試み
医学部	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	病院助手	佐藤 秀三	若手研究 (B)	23791117	NPSLE及び自己免疫疾患の中樞神経病変における抗TPI抗体の研究と臨床応用
医学部	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座	教 授	中山 昌明	基盤研究 (C)	23591196	慢性腎臓病の認知脳低下におけるカルボニルストレスの病態と治療に関する研究
医学部	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座	准教授	佐藤 博亮	基盤研究 (C)	21592142	閉経後のメタボリック症候群病態形成におけるアディポネクチンとレジスチンの役割
医学部	神経内科学講座	教 授	宇川 義一	基盤研究 (B)	22390181	新しい磁気刺激(QPS)による神経疾患治療の開発: その基礎生理と臨床応用
医学部	神経内科学講座	講 師	望月 仁志	基盤研究 (C)	21500308	神経難病治療を目指した反復磁気刺激法の作用機序に関する光トポ・電気生理による研究
医学部	神経内科学講座	助 教	小林 俊輔	基盤研究 (C)	23500393	中枢神経モジュレーターと意思決定
医学部	神経内科学講座	助 教	榎本 雪	基盤研究 (C)	21591116	不均一連発磁気刺激のてんかんに対する臨床応用およびその生理学的検討
医学部	呼吸器内科学講座	教 授	棟方 充	挑戦的萌芽研究	23659436	軽微な線維化肺を用いた網羅的遺伝子発現解析による特発性肺線維症の病態・病因解明
医学部	呼吸器内科学講座	助 教	横内 浩	基盤研究 (C)	23591155	G蛋白質共役受容体アレイを用いた新規肺癌標的分子の探索
医学部	臓器再生外科学講座	教 授	後藤 満一	基盤研究 (B)	22390248	細胞死回避による免疫寛容誘導の機構解明とその展開
医学部	臓器再生外科学講座	講 師	伊勢 一哉	基盤研究 (C)	22591412	細胞組織工学を用いた膵島細胞シートの多次元化によるインスリン分泌機能の構築
医学部	臓器再生外科学講座	助 教	山下 方俊	基盤研究 (C)	23591507	若年発症1型糖尿病に対する再生膵島移植-膵島細胞シートの同種移植
医学部	臓器再生外科学講座	助 教	石井 証	基盤研究 (C)	23591871	若年発症1型糖尿病に対する再生膵島移植-膵島細胞シートの異種移植
医学部	臓器再生外科学講座	助 教	樫村 省吾	若手研究 (B)	23791555	食道癌センチネルリンパ節における樹状細胞活性化動態とTh17/Tregバランス
医学部	臓器再生外科学講座	助 教	穴澤 貴行	若手研究 (B)	23791554	細胞分離用酵素剤の最適化とイオンチャンネル制御の膵島移植への応用
医学部	臓器再生外科学講座	博士研究員	斎藤 隆晴	基盤研究 (C)	22591527	細胞死にともなうHMGB-1を標的とした移植片長期生着効果の誘導
医学部	整形外科科学講座	講 師	関口 美穂	基盤研究 (C)	23592169	ラット随核留置モデルにおける全身または局所ストレス負荷が及ぼす疼痛関連行動

所 属		職	氏 名	研究種目名	課題番号	研 究 課 題 名
医学部	形成外科学講座	教 授	上田 和毅	基盤研究 (C)	21592291	流入型神経端側縫合による筋肉の脱神経性萎縮防止法の研究
医学部	形成外科学講座	助 教	大河内裕美	若手研究 (B)	20791312	血管吻合部付近の形状と開存率の検討
医学部	産科婦人科学講座	助 教	菅沼 亮太	若手研究 (B)	21791568	顕微授精後受精障害症例に対する治療的な人為的卵活性化法の有効性に関する検討
医学部	小児科学講座	教 授	細矢 光亮	基盤研究 (C)	21591330	イルフルエンザ脳症の組織培養モデルを用いた薬剤による病態の増悪及び改善の検討
医学部	小児科学講座	准教授	川崎 幸彦	基盤研究 (C)	23591575	腎糸球体の障害再生過程におけるM1・M2マクロファージの役割と再生促進因子の解明
医学部	小児科学講座	准教授	橋本 浩一	基盤研究 (C)	21591394	マウスモデルを用いた臨床分離株解析によるRSV病原性発現の新たな機序の解明
医学部	小児科学講座	講 師	佐藤 晶論	基盤研究 (C)	22591187	ヒト上気道細胞モデルを用いた新規インフルエンザウイルス複製機序の解明とその制御
医学部	小児科学講座	病院助手	小笠原 啓	若手研究 (B)	23791232	臍帯血中ヒトグルココルチコイドレセプターの発現とステロイド抵抗性に関する検討
医学部	小児科学講座	博士研究員	今村 孝	若手研究 (B)	23791231	慢性肺疾患発症予防への吸入ステロイド療法による炎症性細胞とサイトカインとの関連
医学部	眼科学講座	教 授	飯田 知弘	基盤研究 (C)	22591946	視細胞・網膜色素上皮細胞機能の定量解析による加齢黄斑変性発症機序の解明
医学部	眼科学講座	准教授	石籠 鉄樹	基盤研究 (C)	21592261	視細胞外節障害時の視細胞応答機構の解明
医学部	眼科学講座	助 手	小島 彰	若手研究 (B)	23791996	532nmの励起光を用いた眼底自発蛍光の定量的解析
医学部	皮膚科学講座	教 授	山本 俊幸	基盤研究 (C)	22591079	強皮症モデルマウスを用いた、皮膚硬化の分子機構の解明と新規治療法の開発
医学部	泌尿器科学講座	講 師	相川 健	基盤研究 (C)	23592373	過活動膀胱の発生と前立腺におけるニューロモデュレーションシステムの解析
医学部	泌尿器科学講座	講 師	石橋 啓	基盤研究 (C)	22591773	腎癌におけるRNA干渉による免疫回避機構の解明と治療への応用に関する研究
医学部	泌尿器科学講座	博士研究員	宍戸 啓一	基盤研究 (C)	22591795	$\beta 2$ 受容体遺伝子多型が女性骨盤底機能障害患者の骨盤底筋収縮に及ぼす影響
医学部	耳鼻咽喉科学講座	教 授	大森 孝一	基盤研究 (B)	22390317	iPS細胞を用いた頭頸部臓器再生技術の研究開発
医学部	耳鼻咽喉科学講座	講 師	松塚 崇	基盤研究 (C)	21592200	遺伝子的手法を用いたセンチネルリンパ節転移の術中迅速診断法の開発
医学部	耳鼻咽喉科学講座	講 師	多田 靖宏	基盤研究 (C)	23592536	組織工学的手法を用いた器官再生における上支形成メカニズムの解明
医学部	耳鼻咽喉科学講座	講 師	横山 秀二	若手研究 (B)	22791618	気道領域におけるヒト脂肪由来幹細胞と多血小板血漿を用いた臓器再生に関する研究
医学部	耳鼻咽喉科学講座	学内講師	松井 隆道	若手研究 (B)	21791630	サイトメガロウイルス感染による聴覚障害における聴覚・言語発達に関する研究
医学部	耳鼻咽喉科学講座	助 教	鈴木 輝久	若手研究 (B)	23791917	再生医療におけるハイブリッド3次元培養法の開発
医学部	耳鼻咽喉科学講座	助 手	鈴木 政博	若手研究 (B)	22791617	ヒト脂肪由来幹細胞の培養法の確立および組織再生技術の研究開発
医学部	耳鼻咽喉科学講座	助 手	野本 美香	若手研究 (B)	23791918	自家軟骨細胞を用いた喉頭の軟骨欠損部の再生
医学部	神経精神医学講座	教 授	丹羽 真一	基盤研究 (C)	23591720	統合失調症の社会認知機能の包括的評価法の開発
医学部	神経精神医学講座	助 教	板垣俊太郎	若手研究 (B)	22791136	成人期の軽度発達障害患者における聴覚性感覚記憶の障害に関する研究
医学部	神経精神医学講座	助 教	石川 大道	若手研究 (B)	22791137	成人期注意欠如/多動性障害の診断におけるCPTの有用性に関する研究
医学部	神経精神医学講座	博士研究員	池本 桂子	基盤研究 (C)	22591265	統合失調症の病態においてトレースアミンはどう関わるか
医学部	神経精神医学講座	博士研究員	境 洋二郎	若手研究 (B)	22791135	光トポグラフィを用いた空間恐怖を伴うパニック障害患者の前頭葉機能の評価
医学部	神経精神医学講座	博士研究員	國井 泰人	若手研究 (B)	23791344	統合失調症死後脳における異常タンパクの半網羅的定量的プロファイル解析
医学部	麻酔科学講座	助 手	中野 裕子	若手研究 (B)	22791447	Hsp70誘導による周術期臓器保護の可能性
医学部	感染制御・臨床検査医学講座	講 師	山本 夏男	基盤研究 (C)	22591103	インターロイキンIL-13とB-1細胞による急性感染症予後制御機構
医学部	地域・家庭医療学講座	助 教	田中 啓広	若手研究 (B)	22790501	健康診査・国民健康保険・後期高齢者医療制度・介護保険データの突合・分析
医学部	放射線健康管理学講座	教 授	大津留 晶	基盤研究 (C)	23590946	放射線腸炎に対する自家脂肪組織由来間葉系前駆細胞を用いた再生治療
医学部	人間科学講座 (人文社会科学)	講 師	中川 恵子	基盤研究 (C)	23520821	台湾総督府による中国華南地域への医療支援

所 属		職	氏 名	研究種目名	課題番号	研 究 課 題 名
医学部	自然科学講座（生物学）	准教授	五十嵐城太郎	新学術領域研究	23117504	OGFOD 1 による翻訳開始因子キナーゼの水酸化
医学部	生体物質研究部門	教 授	本間 好	基盤研究（C）	21590314	ペー酸化を制御するシグナル系の解析
医学部	生体物質研究部門	准教授	本間美和子	基盤研究（C）	23570170	細胞周期進行におけるヌクレオソーム形成と機能制御に関する研究
医学部	生体物質研究部門	講 師	北村 拓也	若手研究（B）	22791294	胆汁誘発性食道癌発生における erbB 2 の役割
医学部	生体物質研究部門	助 教	小椋 正人	若手研究（B）	23790341	ミトコンドリア内 c-Src 活性制御に関わる新規相互作用タンパク質の同定と機能解析
医学部	細胞科学研究部門	准教授	初沢 清隆	基盤研究（C）	22570189	ファゴソーム成熟を司る SNAP-23 の新奇機能の解明
医学部	細胞科学研究部門	助 教	橋本 仁志	基盤研究（C）	22580386	新たなプローブを用いたゴルジ体-小胞体間輸送の解析
医学部	細胞科学研究部門	助 教	荒井 斉祐	若手研究（B）	23780348	ホスホコリンシチジルトランスフェラーゼの活性化制御機構と分泌系機能調整の解析
医学部	生体機能研究部門	教 授	小林 和人	基盤研究（B）	23300119	新規神経回路操作技術による大脳皮質-基底核ネットワーク制御機構の解明
医学部	生体機能研究部門	教 授	小林 和人	挑戦の萌芽研究	22650065	標的ニューロン活動を促進性・抑制性に制御する遺伝子改変技術の開発
医学部	生体機能研究部門	助 教	甲斐 信行	基盤研究（C）	22500294	オペラント行動の発現に側坐核コアの神経伝達が果たす役割
医学部	生体機能研究部門	助 教	加藤 成樹	若手研究（B）	21700354	特定神経路標識する逆行性レンチウイルスベクターを用いた視床-線条体経路の機能解明
医学部	放射性同位元素研究施設	准教授	遠藤 雄一	基盤研究（C）	22570144	パターン認識分子 H-フィコリンの自然免疫における役割
医学部	腫瘍生体治療学講座	准教授	志村 龍男	基盤研究（C）	23592017	Galectin および AMF による膀胱新規治療法の開発
医学部	集中治療部	助 教	高野 真澄	基盤研究（C）	22590789	薬物負荷 3 次元心エコーを用いた虚血性心疾患に対する診断法の確立
医学部	総合周産期母子医療センター	助 教	浅野 仁覚	若手研究（B）	22791539	切迫早産における胎盤と子宮筋アデニル酸サイクラーゼの役割
医学部	臨床腫瘍センター	准教授	原 孝光	基盤研究（C）	23591844	ヒト乳癌細胞の転移能と放射線感受性に関する研究
医学部	会津医療センター準備室	医監兼教授	入澤 篤志	基盤研究（C）	21590875	膀胱予防としての慢性膀胱炎早期診断法の確立-マイクロバブル造影超音波内視鏡検査-
医学部	会津医療センター準備室	教 授	塚本 和久	基盤研究（C）	23591333	肝臓におけるコレステロールハンドリングと小胞体ストレス
医学部	会津医療センター準備室	教 授	小川 洋	基盤研究（C）	21592162	サイトメガロウイルスによる聴覚障害メカニズムの解明
看護学部	総合科学部門	講 師	立柳 聡	基盤研究（C）	21520823	高齢化コミュニティの暮らしの変化と保健戦略-八丈島と奥会津山村の比較研究-
看護学部	基礎看護学部門	助 教	林 紋美	研究活動スタート支援	23890170	原発により避難生活にある糖尿病患者のコントロールに関する問題とその支援体制の構築
看護学部	療養支援看護学部門	教 授	荒川 唱子	基盤研究（B）	21390569	研究成果を実践活用する方法の開発-看護学におけるトランスレーショナルリサーチ
看護学部	療養支援看護学部門	准教授	坂本 佑子	基盤研究（C）	21592762	睡眠周期測定による術後譫妄発症予測尺度の開発に関する研究
看護学部	療養支援看護学部門	講 師	飯塚 麻紀	若手研究（B）	21792226	開頭術後の意識障害患者に付き添う家族の看護支援に関する研究
看護学部	療養支援看護学部門	講 師	三浦 浅子	基盤研究（C）	22592447	がん患者・家族の悩み相談を受ける看護師の能力開発に関する研究
看護学部	家族看護学部門	教 授	中山 洋子	基盤研究（B）	22390442	精神障害者のセルフケア能力を評価する尺度の開発
看護学部	家族看護学部門	准教授	大川 貴子	基盤研究（C）	21592763	重症患者への臨床活用を目的とする不穏兆候スケールの開発とケアガイドの作成
看護学部	家族看護学部門	准教授	大竹真裕美	基盤研究（C）	22592446	救急医療の場での精神的問題をもつ患者のニーズと高度実践看護師教育プログラムの検討
看護学部	家族看護学部門	助 教	鈴木 学爾	基盤研究（C）	21592811	福島県北地域における小児救急の課題に応じた看護支援プログラムの開発
看護学部	地域・在宅看護学部門	准教授	高瀬 佳苗	基盤研究（C）	23593384	中高年者の健康増進の運動行動に対する自己効力および結果期待の尺度開発

■ 平成23年度 厚生労働科学研究費補助金採択状況 (研究代表者)

(平成24年1月27日現在)

所 属	職 名	研 究 事 業 名	研 究 課 題 名
医学部	教 授	慢性の痛み対策研究事業	慢性疼痛の多面的評価システムの開発と客観的評価法の確立に対する研究
	講 師	循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業	わが国のアルコール対策の評価と成人の飲酒行動に関する研究
	教 授	がん臨床研究事業	消化器がん外科診療の質を評価する指標の開発とがん医療の均てん化の推進

■ ルース米国駐日大使本学訪問

1月17日(火)、ルース米国駐日大使が本学を訪問されました。同日本学にて医学部、看護学部の学生約300人と意見交換が行われました。冒頭、ルース大使から、「これからの将来を担うのは学生の皆さんです」との激励のメッセージがありました。大使への質問は、殆どが英語で行われ、放射線の問題や将来についての考え方、学生の米国への留学などについて、活発に意見を取り交わしました。

学生から、本学で制作しましたTシャツ贈呈の後、最後に学生全員が大使を囲んで記念撮影を行いました。



■ 国際シンポジウムの「結論と提言」について

昨年平成23年9月11日・12日の両日にわたり、本学講堂にて日本財団主催の国際専門家会議「放射線と健康リスクー世界の英知を結集して福島を考える」International Expert symposium in Fukushima-Radiation and Health Risks が開催されました。

会議には世界14か国2機関から、放射線医学や放射線防

護学の分野の研究者31名が参加、国内の研究者・メディア関係者を含め約400名が一同に会し、福島の実状や低線量被ばくによる健康影響、放射線安全と健康リスク、チェルノブイリ原発事故の教訓等について活発な意見交換を行いました。

本会議の「結論と提言」8項目が11月に公表されました。内容の抜粋を以下に掲載します。

(日本財団提供)

国際専門家会議「放射線と健康リスク」 結論と提言 (抜粋)

2011年9月11日、12日の両日福島市で、国際専門家会議「放射線と健康リスク—世界の英知を結集して福島を考える」が開催された。

シンポジウムには、国連科学委員会 UNSCEAR、世界保健機関 WHO、国際原子力機関 IAEA などの国際機関や政府間組織の専門家と、非政府機関である国際放射線防護委員会 ICRP 委員を含む世界的な専門家が出席した。

このシンポジウムで参加者は、放射性物質が環境中に大量に放出された場合の健康影響を分析評価し、特にチェルノブイリのような大規模な事故から導きだされる国際的な経験と知見に考慮を払い、「結論と提言」を導き出した。

- 1) 事故の社会的、精神的、そして経済的な影響について納得のゆく合意形成のための環境放射能レベルの継続的なモニタリングと評価
- 2) 健康と放射線に関する最新の情報の入手及び組織された地域参加型の事業展開
 - a) 福島県民健康管理調査のための国際的なレベルでの専門的な経験の活用と多くの住民の参加協力
 - b) 過去の放射線被ばく線量の推定のための事故以降の個々人の行動記録及び早急な情報の収集

- c) 住民の調査に対する速やかな回答のための行政機関の支援
- 3) 被災した住民に対する日本の放射線に関する経験や専門知識の還元
- 4) 緊急放射線災害医療システムについての検証と問題点の解決
- 5) 線量評価、リスク評価と意志決定の透明性及びわかりやすい科学的エビデンスとその解釈の提供
- 6) 社会的、心理的な支援を組み込んだ医療システム
- 7) 長期的な国際機関の支援と相互の協力関係強化
- 8) 政府と地方自治体、他の関係者、関係する地域出身の市民代表者、そして国際機関などから成る福島原発事故に関するタスクフォースの組織化の着手
 - a) 福島で計画される種々なプロジェクトに対する国内及び国際的機関の助言・勧告の積極的な調整
 - b) 管理者や専門家らの一連の会議を通しての放射線による環境影響と健康についての「信頼のおける統一見解」のとりまとめ
 - c) 環境改善と特別なヘルスケア・プログラムについての助言と必要な新たな研究分野についての提言。

2011年10月25日

国際専門家会議「放射線と健康リスク」組織委員会

- 笹川 陽平 (委員長：日本財団)
 紀伊國献三 (笹川記念保健協力財団)
 菊地 臣一 (福島県立医科大学)
 丹羽 太貫 (京都大学)
 山下 俊一 (福島県立医科大学、長崎大学)
 デイヴィッド・ヘイマン (英国王立国際問題研究所)
 フレッド・メトラー (国連科学委員会)



(日本財団提供)

編集発行 公立大学法人福島県立医科大学
 事務局企画財務課
 〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地
 TEL 024 (547) 1013 FAX 024 (547) 1991